

## 6月の予定

- 1日 体験農園 田植え大会
- 3日 若竹保育園・田植え
- 5日 脇山小学校歓迎会
- 6日 ピノキオこども園・田植え
- 7日 早良高校文化祭
- 8日 脇山小学校・田植え
- 19日 アトリエ木下撮影会
- 29日 大野城トモロウ交流会

## ご協力ありがとうございます!

### 【5月の寄付品】(敬称略)

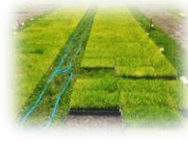
薦田稔、ひよどり精肉店、博多ピノキオこども園

### 【5月の新入会】(敬称略)

〔法人〕社会福祉法人正道会  
〔個人〕猪村利恵子、藤津剛

## 農場の研修風景

今年の脇山の田んぼは、5月の下旬が過ぎようとしているこの時期でも、まだ田植えを済ましていない田んぼがたくさんあります。この時期は、センターの建物の2階から脇山の田んぼの風景を眺めると、代掻きをした田んぼに、周囲の山々が反射してきれいに映っている光景は、まさにこの時期ならではの絶景となっています。しかし、今年は虫が飛び交うこの時期でも、多くの田んぼの土がカラカラに乾いている様子を見ると、少し違和感を感じてしまいます。それではどうして今年は田植えの時期が遅いのかというと、去年早く田植えをした田んぼが、収穫量がとても少なかったからだそうです。猛暑の影響で、お米の実を太らす大事な時期に、高温障害で米粒が小さくなったという事です。今年も夏は猛暑の予報が出ていますが、お米がたくさん収穫できることを祈っています。(豊田)



## 体験農園だより

今年度は2年ぶりにお茶摘み大会を実施することができました。ご参加は3組でしたが、お茶摘みからお茶煎りまで楽しんでいただけました😊畑では一時雨が降らない期間がありましたが、参加者の皆さまが日々水やりされているおかげで、グングンと成長しております。早くも一番花が結実しましたが、まだ本番前ですので、たくさんは収穫できておりません。例年、豊作で参加者の皆様に喜んでいただいておりますので、今年度も豊作となるように努めたいと思います!6月は田植え大会になります。日頃食べているお米がどのようにできているかを、泥んこになりながら参加者の皆様に体験していただけたらと思います😊(飯川)



## 日本語の様子 ③

**農業研修生Aクラス(7名)**は、みんなの日本語IIで文法を学びながら、漢字の勉強も続けています。

先日、さいころトーク(6つのお題があり、出た目のお題について話す)をしてみました。まだ、単語で答えることが多く、まとまった文で話すことは難しいなと感じました。その点も、今後改善できたらいいなと思っています。ちなみに、日本での今までの生活で一番楽しかったことは、冗談をいいあうこと、日本語の勉強(空気を読んだのかな?)と言っていました。大変だったことは、点呼と草刈りだそうです。引き続き、7月の日本語能力試験に向けての勉強も続けます。

**農業研修生Bクラス(5名)**は、みんなの日本語Iの勉強を続けています。今月は動詞のない形(→食べない)と辞書形(→食べる)を学習しました。これらは、普通体(丁寧体「です・ます」ではなく)として会話で使われます。日頃の生活でよく耳にする言葉を話し出した彼らから出てきた言葉は、「わかる?」「わからない?」「ある?」など。そして、所長が実習終了時に言う「終わる!終わる!」です。動詞の活用の勉強は大変ですが、日常の会話で必要だとわかると頑張って勉強することでしょう。

まだまだこれから、がんばれ研修生!(立石考子)



# まるごと!西日本

2024年6月号



@OISCA\_NTC  
Instagram facebook

発行:(公財)オイスカ西日本研修センター まるごと部  
福岡市早良区小笠木 678-1  
TEL(092)803-0311 FAX(092)803-0322  
E-mail: [oiscantc@oisca.org](mailto:oiscantc@oisca.org) 検索 **オイスカ西日本**

日頃の様子を更新中!是非チェックお願いします!

## 寄付金贈呈式

5月10日(金)、スーパーマーケットを展開している株式会社サンリブ様(本社:北九州市若松区)より、2024年度の店舗トレイ回収による還元金及びレジ袋の販売に伴う売り上げの一部144,670円を西日本研修センターへご寄付いただきました。またサンリブ BUONO 原店(福岡市早良区原)のお野菜売り場にはオイスカコーナーを設け販売をさせていただいております。ぜひお近くにお越しの際にはお買い求めください。この度の寄付金贈呈誠にありがとうございました。(満川)



サンリブ本社 中澤総務広報課長(右から4人目)

## 韓国シュタイナー学園来所

5月20日(月)韓国シュタイナー学園より施設利用として生徒引率含め19名の方が研修センターに3泊4日の宿泊をされました。滞在中は海外の研修生とBBQ夕食会を通してお国の踊りの披露やシュタイナー学園の皆様の素敵な楽器演奏会も開催していただき、和やかな雰囲気の中、交流をさせていただきました。今後は福岡シュタイナー学園の皆さんと親睦を深め、相互交流の輪が広がっていくことを期待しています。ご来所いただきありがとうございました。(満川)



## 「コラボラQでん」九州電力送配電田植えイベント開催

5月25日(土)、九州電力送配電「コラボラQでん」が主催する田植えイベントが、オイスカの田んぼ(25a)で開催されました。当日は、一般参加者、ボランティア含めて140名を超える方が参加して、賑やかに田植え作業を行いました。強い日差しの割には田んぼを吹く風は心地よかったため、みなさん気持ちよく田植えを行うことが出来ました。時間の都合で最後まで田植えは出来ませんでした。子ども達は泥んこになりながらお米を育てることがいかに大変なことか、少しでも理解することが出来たと思います。



## 博多どんたく港まつり

5月4日(日)西新ステージで研修生13名が、フィジー・パプアニューギニア風のバンブーを使って歌とダンスを披露しました。当日は研修生が初めて皆さんに紹介させていただく機会でした。最初は緊張の面持ちでしたが、応援に駆け付けてくれた多くの人達やお客さんの声援のもと、いつも以上に陽気で元気いっぱい歌って踊ってステージ後は笑顔いっぱい!お昼ごはん、おにぎりを食べてお腹いっぱいの楽しいお祭りデーでした。(浦上)





## OB 研修生紹介コーナー

今回紹介するOB・OG研修生は、バングラデシュのナズマさんです。  
ナズマさんは、センターでの研修期間中ではいつも周りを明るくするムードメーカーで、笑顔が絶えない存在でした。  
そんなナズマさんは、現在何をしていますのでしょうか。

**Q1: 国に帰ってから今まで何をしていましたか?**

わたしは国に帰ってから結婚をして現在子どもが一人います。  
仕事としてはヤギの事業をはじめました。ヤギ2頭は6月に販売します。それと、ジャガイモを7月に植える予定です。1年間他の人から土地を借りて栽培しています。

**Q2: 日本についての思い出は何ですか?**

日本はとても清潔な国です。日本人はゴミをその場に捨てずに、  
ゴミを見つけたら掃除します。私たちの国ではそのようなことはありません。

**Q3: 日本の好きな食べ物は何ですか?**

天ぷら、パン、ジャム、ジュース、オイスカのご飯です。

**オイスカのメンバーとスタッフにコメントを!**

オイスカのメンバーの皆さんとスタッフの皆さんは、とても親切で私たちの  
日本語や研修について、自分の子どものように教えてくれました。

わたしはそれがとても好きでした。

みなさん、楽しい思い出を有難うございます。

以上、バングラデシュのナズマさんでした。

**家族の皆さんと幸せにお暮らしてください。**



## Thank you 中垣さん・アダさん

元インドネシア駐在代表の中垣夫妻が一昨年の9月より西日本研修センターでお手伝いを頂いていました。5月23日に当センターを離れオイスカ本部の海外事業部へ異動となりました。在籍中は、インドネシア研修生(技能実習生含む)の通訳、サポートや、研修センター全体のサポートも頂きました。20年以上にわたるインドネシアでされた経験があり、インドネシアはもとより他の研修生にも心強い指導員となっていました。これからは京都の自宅を拠点としてインドネシア関連業務と現地での調整に入られます。1年8ヶ月の間、本当にありがとうございました。



## TOWA バザー

5月11日(土) オイスカの隣の内野校区にある、TOWA バザーにブース出店をしてオイスカ農産物等の販売をさせていただきました。研修生はバザー開始にあわせ、来場される方々に呼びかけ農産物はじめ加工品のジャム、またパンやクッキー、それにインドネシアのルアックコーヒーなどを販売して、たくさんの方にお買い求めいただきました。ご協力ありがとうございました。(満川)



## 室町ケミカル社員研修

5月15日(水)~18日(土)の4日間、大牟田市にある室町ケミカル株式会社の新入社員5名(男3、女2)が参加して「非日常を楽しもう」をテーマに新入社員研修を実施しました。研修の主な内容は、オイスカ海外研修生と一緒に農業体験やウォーキングを通して、交流を深めながら国際的な感覚を養うと共に、改めて自分の国を見直し、自分の国やふるさとに誇りを持つきっかけになるように多くの体験をもらい、研修生ともお互いに仲良くなり、一緒に生活することで、お互いを理解し学び合う良い機会となりました。また「命をいただく」ということで、(私自身も初めてだった ←ここ省いても良いです)ニワトリの解体! 野菜の収穫、そして食事づくりなど自分が生きていくために多くの命をいただいているということ、様々な農業体験を通して、日頃食べているお肉や野菜がどのように育てられ、どれだけたくさんの方の手がかかってお店に並び、そして食卓に上がるのかを一緒に体験・体感し本当の意味で「感謝」を実感しました。4日間という短い時間ではありましたが、海外研修生と仲良くなれるか? 動物の解体ができるのか? 18kmを完歩できるか? それぞれに不安や怖さを抱きながら涙を流しながらもチャレンジする。そのことを達成できたことは、これからの人生で、この経験が少しでも活きたらとても嬉しく思います。(浦上)



## 脇山公民館講演

5月17日(金)に脇山公民館でミャンマーの人が日本で暮らして感じた事をテーマにお話をさせてもらいました。私は13年前にオイスカ西日本研修センターで家政コースの研修生として2年間研修を受けました。日本での生活習慣の違いで戸惑いも多く、中でもお風呂に入る時はとても恥ずかしかったり、今振り返り考えてみると私が経験した色々なカルチャーショックは私にとって醍醐味になったかもしれません。私は日本人の勤勉さ、優しさなどに触れ日本がとても好きになりました。今でもミャンマーは国が安定しておらず、国の事を考える度に心が痛みブルーな気持ちになります。私達が住んでいる脇山ではお年寄りの方がとても元気に生活をされています。私が若い世代の人達にお伝えしたい事はお年寄りの方々にもっと寄り添い大事にして欲しいとメッセージをお伝えしました。これからも色々とお世話になります。どうぞ宜しくお願いします。(ティン)



## 会員様のご紹介(オイスカ宮崎県推進協議会:長峰 八重子 様)

今回ご紹介をします長峰様は1985年にご入会をされました。その当時はオイスカ宮崎支局と都城支局が合併する以前で、これまで長年にわたりご支援をいただいています。長峰様はとても真面目で働き者、オイスカ活動をいつも真摯に受け止めて頂き、オイスカの海外植林活動にはご自身の娘さんを参加させるなど、陰の力でオイスカ活動をサポート頂いています。これからも皆さんの思いが周りの人たちに響き、共感の輪がさらに広がっていくことを期待しています。これからもどうぞよろしくお願い致します。(宮崎県推進協議会事務 加治屋)

娘さん  
→

